

第22回

日本女性腎臓病医の会

JSWN総会

Japanese Society of Women Nephrologists

日時

2025年 6月20日(金)

総会 19:00~20:40(18:40受付開始) 懇親会 20:40~22:00

会場 TKPガーデンシティPREMIUM横浜ランドマークタワー
カンファレンスルームC

第22回当番世話人

西尾 妙織 北海道大学病院 血液浄化部

〒220-8125 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 25階 横浜ランドマークタワー

形式 対面およびオンライン開催

参加費

現地参加:3000円(懇親会費を含む) オンライン参加:無料
※会員の方は別途JSWN年会費を申し受けます

プログラム

JSWN研究活動奨励賞・ JSWN症例報告論文賞授賞式

座長 鳥巢 久美子

九州大学大学院医学研究院 包括的腎不全治療学

三村 維真理

東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科

●2024年度症例報告論文賞

福田 はるか 先生

長崎みなとメディカルセンター 腎臓内科

「Tubulointerstitial nephritis with storiform fibrosis
in a patient with angioimmunoblastic T-cell lymphoma」

●2024年度研究活動奨励賞

西村 絵里那 先生

慶応義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科

「近位尿細管上皮細胞における
DNA損傷を起点とする全身代謝変容の解明」

小林 亜理沙 先生

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻

「高齢者における保存的腎臓療法の適切な選択
および予後に関する包括的検討」

●2023年度研究活動奨励賞 受賞者経過報告

白井 陽子 先生

東京女子医科大学 腎臓小児科

「抗nephrin抗体による巣状分節性糸球体硬化症の
腎移植後再発の病態解明」

大木 里花子 先生

東京女子医科大学 移植管理科

「腎移植女性における妊娠性と抗HLA抗体の検出の関係」

特別講演

座長 西尾 妙織 北海道大学病院 血液浄化部

保田 淑子 氏

日立製作所 研究開発グループ デジタルサービス研究統括本部
先端AIイノベーションセンター シニアプロジェクトマネージャ

「デジタルイノベーションの波をしなやかに生きる」

懇親会 地域活動報告 ※配信はありません

北海道、東北、北信越、関東、東海、近畿、中国、四国、九州・沖縄

事前参加登録のご案内

第22回JSWN総会は事前参加登録制です。

参加登録サイト:<https://jswn22nd.peatix.com>

参加登録締切:現地参加……6/20(金)17時 まで
オンライン参加……6/20(金)10時 まで

※Peatixでのお申し込みにはPeatixアカウント登録(無料)が必要です。
※Peatixシステムでご不明な点はPeatix公式ヘルプにてご確認ください。

事前参加登録

- 当日お名前を確認させていただきます。
- 参加費のお支払い方法はクレジットカード払いおよびコンビニエンスストア払いとなります。事前決済により申込が確定となります。

1 申込ページを開きます

日本女性腎臓病医の会第22回総会
<https://jswn22nd.peatix.com>



2 「チケットを申し込む」をクリックします

チケットを申し込む

3 チケットを選択します。

支払い方法を選択します

ログインへ進む

4 Peatixにログインします

次に進む

5 事前アンケートに回答し申し込みます 申込完了メールが届きます

チケットを申し込む

代表世話人挨拶

三代目代表世話人 武曾 恵理 京都華頂大学 現代生活学部

四代目代表世話人

主催 JSWN(日本女性腎臓病医の会)

事務取扱い担当:株式会社ピーシーオーワークス

〒101-0048 東京都千代田区神田町2-4-2 神田アーバンビル 2階

TEL:03-3291-3636 FAX:03-3291-3635 E-mail:jswn_info@pcoworks.jp

第22回 JSWN総会

Japanese Society of Women Nephrologists

「デジタルイノベーションの波をしなやかに生きる」

(株)日立製作所 研究開発グループ デジタルサービス研究統括本部
先端AIイノベーションセンタ シニアプロジェクトマネージャ

保田淑子

VUCAの時代、地球規模の自然災害の多発や感染症の世界的流行、社会課題の複雑化により、将来を見通すことが困難になってきている。その中で、日々メディアではChat GPT等AI技術に関する話題には事欠かないなどIT技術の進化が加速し、デジタルイノベーションが世界の至る所で起こっている。我々は今、今日最先端の技術が明日には別の技術に塗り替えられてしまうような、もの凄いスピードで進化する技術領域で研究開発を推進し、デジタルイノベーションにより新たな価値を提供することで社会課題解決をめざしている。

一方、上記活動を支えるデジタル領域での人材不足も顕著になってきている。グローバル各所では数百万人以上、経済産業省の最新の調査によれば、日本でも2030年には約80万人のデジタル人材が不足するといわれている。これらの課題解決に向けては国内外で女性の活躍が期待されるが、海外と比べると日本はまだまだ女性が働きやすい環境になっていない状況である。工学分野への女性進出を阻む根強いアンコンシャスバイアスの存在や、特に私が所属している日本の製造業においては女性管理職のロールモデルも少なく、圧倒的マイノリティである女性がエンジニアという職業を選択し、その後キャリアアップし続けることは大きなチャレンジである。

自らの30年超の研究者人生を振り返ると、ライフを大切にしつつ、自分だけでは到底制御できない大きなうねりの中で、日々悩みながらもキャリアアップをしていく上で一番重要だったことは、自己成長のマインド、であったと思う。医療からは遠い異分野の話であるが、気持ちの持ち方、機会とチャレンジ、他者の巻き込み方など、デジタルイノベーションを支えるデジタル技術の研究開発に携わる私の経験を共有させていただきたい。同じ女性職業人として参考になる部分が少しでもあると幸いである。

プロフィール

1991年早稲田大学理工学部 電気工学科卒、(株)日立製作所入社。現在、研究開発グループ先端AIイノベーションセンタ、シニアプロジェクトマネージャとして、グローバル向けAI活用ソリューションおよびプラットフォーム研究プロジェクトを主導。
専門分野はコンピュータアーキテクチャ、クラウドコンピューティング、データサイエンス/AI。
社外活動として、IEEE Computer Society 2025 Executive Committee Secretary & 2024-2026 Board of Governors, ACM/IEEE ISCA2025 Organizational Committee Inclusion Chair、名古屋大学客員教授兼インダストリアルメンター、日本工学アカデミー若手委員会メンバ、
(一社)学びのイノベーション・プラットフォームCurator、
都立高校理科数科および北海道立高校のSTEM教育支援、
キャリア教育に向けた出張講師等。工学博士。